

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 26 年 12 月 11 日 (2014.12.11)

【公開番号】特開 2013-196404 (P2013-196404A)

【公開日】平成 25 年 9 月 30 日 (2013.9.30)

【年通号数】公開・登録公報 2013-053

【出願番号】特願 2012-63055 (P2012-63055)

【国際特許分類】

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 12/00 5 1 1 C

G 0 6 F 12/00 5 1 3 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 10 月 27 日 (2014.10.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

データの入手元である入手元データベースにある複数のソーステーブルにアクセスするデータ処理装置において、

複数のソーステーブルを定義するソース定義プログラムと、前記複数のソーステーブルの各ソーステーブルがある入手元データベースの所在を示す入手元所在情報と、前記ソース定義プログラムを識別するソース識別子とを対応付けて記憶装置に記憶する定義プログラム記憶部と、

前記定義プログラム記憶部に記憶された前記ソース識別子の中から所定の条件にしたがってソース識別子を抽出し、抽出したソース識別子一覧を表示装置に表示する表示部と、

前記表示部により表示された前記ソース識別子一覧から選択された少なくともひとつのソース識別子を入力する入力部と、

前記入力部により入力された少なくともひとつのソース識別子を入力し、入力した少なくともひとつの前記ソース識別子に対応する前記ソース定義プログラムと前記入手元所在情報とを前記定義プログラム記憶部から抽出し、抽出した前記入手元所在情報が示す入手元データベースに対して、抽出した前記ソース定義プログラムにより定義されるソーステーブルにアクセスするテーブルアクセス部とを備えることを特徴とするデータ処理装置。

【請求項 2】

前記データ処理装置は、さらに、

前記定義プログラム記憶部に記憶された前記入手元所在情報が示す入手元データベースの所在から入手元データベースが削除されているか否かを処理装置により判定するデータベース判定部を備え、

前記表示部は、

前記定義プログラム記憶部に記憶された前記ソース識別子のうち、前記データベース判定部により削除されていないと判定された入手元データベースを示す入手元所在情報に対応する前記ソース識別子を抽出し、抽出した前記ソース識別子一覧を表示装置に表示することを特徴とする請求項 1 に記載のデータ処理装置。

【請求項 3】

前記表示部は、さらに、表示した前記ソース識別子一覧の中から少なくともひとつの前

記ソース識別子を選択させる選択画面を表示装置に表示し、

前記入力部は、

前記表示部により表示された前記選択画面により選択された少なくともひとつの前記ソース識別子を入力することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のデータ処理装置。

【請求項 4】

前記定義プログラム記憶部は、

前記入手元所在情報が示す入手元データベースから前記複数のソーステーブルの各ソーステーブルを抽出する抽出条件を記述した前記ソース定義プログラムであって互いに排他的な抽出条件が記述された複数の前記ソース定義プログラムを記憶することを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載のデータ処理装置。

【請求項 5】

前記データ処理装置は、さらに、

前記テーブルアクセス部によりアクセスされたソーステーブルの中のデータを加工し、加工したデータを少なくともひとつの出力テーブルであって所定の出力先データベースにある出力テーブルに書き込むデータ書込部を備えることを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載のデータ処理装置。

【請求項 6】

前記定義プログラム記憶部は、さらに、前記出力テーブルを定義する出力定義プログラムと、前記出力テーブルがある出力先データベースの所在を示す出力所在情報と、前記出力定義プログラムを識別する出力識別子とを対応付けて記憶装置に記憶し、

表示部は、さらに、前記定義プログラム記憶部に記憶された前記出力識別子の中から所定の条件にしたがって出力識別子を抽出し、抽出した出力識別子一覧を表示装置に表示し、

前記入力部は、さらに、前記表示部により表示された前記出力識別子一覧から選択された少なくともひとつの出力識別子を入力し、

前記テーブルアクセス部は、前記入力部により入力された少なくともひとつの出力識別子を入力し、入力した少なくともひとつの前記出力識別子に対応する前記出力定義プログラムと前記出力所在情報とを前記定義プログラム記憶部から抽出し、抽出した前記出力所在情報が示す出力先データベースに対して、抽出した前記出力定義プログラムにより定義される出力テーブルをアクセスし、

前記データ書込部は、前記テーブルアクセス部によりアクセスされた前記出力テーブルに対して前記加工したデータを書き込むことを特徴とする請求項 5 に記載のデータ処理装置。

【請求項 7】

複数のソーステーブルを定義する定義プログラムと、前記複数のソーステーブルの各ソーステーブルがある入手元データベースの所在を示す入手元所在情報と、前記定義プログラムを識別するソース識別子とを対応付けて記憶する定義プログラム記憶部を備えるデータ処理装置のデータ処理方法において、

表示部が、前記定義プログラム記憶部に記憶された前記ソース識別子のうち、所定の条件にしたがってソース識別子を抽出し、抽出したソース識別子一覧を表示装置に表示する一覧表示工程と、

入力部が、前記一覧表示工程により表示されたソース識別子一覧から選択された少なくともひとつのソース識別子を入力する入力工程と、

テーブルアクセス部が、前記入力工程により入力された少なくともひとつの前記ソース識別子を入力し、入力した少なくともひとつの前記ソース識別子に対応する前記定義プログラムと前記入手元所在情報とを前記定義プログラム記憶部から抽出し、抽出した前記入手元所在情報が示す入手元データベースに対して、抽出した前記定義プログラムにより定義されるソーステーブルをアクセスするテーブルアクセス工程とを備えることを特徴とするデータ処理装置のデータ処理方法。

【請求項 8】

前記データ処理方法は、さらに、

前記定義プログラム記憶部に記憶された前記入手元所在情報が示す入手元データベースの所在から入手元データベースが削除されているか否かを処理装置により判定するデータベース判定工程を備え、

前記一覧表示工程は、

前記定義プログラム記憶部に記憶された前記ソース識別子のうち、前記データベース判定工程により削除されていないと判定された入手元データベースを示す入手元所在情報に対応する前記ソース識別子を抽出し、抽出した前記ソース識別子一覧を表示装置に表示する

ことを特徴とする請求項 7 に記載のデータ処理装置のデータ処理方法。

【請求項 9】

複数のソーステーブルを定義する定義プログラムと、前記複数のソーステーブルの各ソーステーブルがある入手元データベースの所在を示す入手元所在情報と、前記定義プログラムを識別するソース識別子とを対応付けて記憶する定義プログラム記憶部を備えるコンピュータであるデータ処理装置に実行させるデータ処理プログラムにおいて、

前記定義プログラム記憶部に記憶された前記ソース識別子のうち、所定の条件にしたがってソース識別子を抽出し、抽出したソース識別子一覧を表示装置に表示する一覧表示ステップと、

前記一覧表示ステップにより表示された前記ソース識別子一覧から選択された少なくともひとつの前記ソース識別子を入力する入力ステップと、

前記入力ステップにより入力された少なくともひとつの前記ソース識別子を入力し、入力した少なくともひとつの前記ソース識別子に対応する前記定義プログラムと前記入手元所在情報とを前記定義プログラム記憶部から抽出し、抽出した前記入手元所在情報が示す入手元データベースに対して、抽出した前記定義プログラムにより定義されるソーステーブルをアクセスするテーブルアクセスステップとを備えることを特徴とするデータ処理プログラム。

【請求項 10】

前記データ処理プログラムは、さらに、

前記定義プログラム記憶部に記憶された前記入手元所在情報が示す入手元データベースの所在から入手元データベースが削除されているか否かを処理装置により判定するデータベース判定ステップを備え、

前記一覧表示ステップは、

前記定義プログラム記憶部に記憶された前記ソース識別子のうち、前記データベース判定ステップにより削除されていないと判定された入手元データベースを示す入手元所在情報に対応する前記ソース識別子を抽出し、抽出した前記ソース識別子一覧を表示装置に表示する

ことを特徴とする請求項 9 に記載のデータ処理プログラム。